

## 第1節 教育環境が整う

## 1 教育内容の充実

## 背景・前期計画の取り組み・経過

これから社会を担う子どもたちの健やかな成長を学校・家庭・地域が協働して、社会全体で支えて行く必要があります。H19年から小中一貫教育の取り組みを始め、H22年からは全市で進めています。あわせて、H22年から児童生徒支援や家庭・関係機関との連携を図る「サポートワーカー※」を小中学校に配置し、これらの取り組みによって不登校の減少や学力の向上などの効果が出ています。H23年には、「発達・教育相談支援センター」を開設し、教育相談・支援の充実を図っています。今後も、子どもたちの健やかな成長と活力のあるまちづくりを目指し、教育内容の充実を図ります。



## I

## 小中学校教育の充実

〔教育委員会 前期計画 P.46掲載〕

## 【課題】

- 少子化、情報化等による社会環境の急激な変化の中、教育をめぐっては学力や不登校、いじめなど多くの課題が指摘されています。このような課題を改善し、子どもたちの健やかな成長を図るために、幼稚園から義務教育9年間を見通し、保育所や幼稚園との連携を強め、小中学校が共同した取り組みを進めるとともに、学校・家庭・地域が協働した地域ぐるみの教育を進めていく必要があります。

## 【施策の展開方針】

- 学校・家庭・地域が協働し、幼児期から義務教育9年間を見通した一貫教育を進め、子どもたちの健やかな成長を図ります。
- 子どもたちの将来にわたって、「生きる力」のもととなる「確かな学力」の育成を図ります。
- 「ふるさと松江」の歴史や文化、環境についての体験的な学習を通して、主体的に学ぶ力と、郷土を愛する心を育む教育を推進します。
- 英語をはじめとする外国語の学習を通してコミュニケーション能力を育て、国際文化観光都市「松江」を担う国際感覚を身に付けた人づくりを目指します。
- 不登校児童生徒への支援や不登校の未然防止の取り組みを推進します。
- 学校や地域の実態に応じた教育活動や地域の特色を活かした教育を推進するために、小中学校教職員人事権の早期移譲を目指します。

## 【指標】

目標指標	参考値 H18	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
学力調査において全国値を上回る教科・学年の割合(%)	44.0	73.9 (東出雲町を含まない)	↗	100
松江市立小中学校の児童生徒の生活意識「近所の人と出会った時、あいさつをしている」児童生徒の割合(%)	(小6) 91.7 (中3) 82.9 ※数値は19年 (東出雲町を含まない)	(小6) 92.0 (中3) 86.6 ※数値は21年 (東出雲町を含まない)	↗	100
不登校調査における不登校率(在籍児童生徒のうち不登校児童生徒の占める割合)(%)	小学校 0.70 中学校 3.52	小学校 0.48 中学校 3.13	↘	小学校 0.32 中学校 2.74

## 【主要事業】

- 小中一貫教育推進事業
- 学力向上事業
- 「ふるさと松江」学習推進事業
- (再掲)体験的環境学習推進事業
- 外国語指導助手(ALT)配置事業
- 不登校児童生徒支援事業  
(サポートワーカーの配置など)



小中異学年交流授業



地域ボランティアによる学習補助

## 2

## 特別支援教育の充実

〔教育委員会 前期計画 P.47掲載〕

## 【課題】

- H23年4月に発達・教育相談支援センター「エスコ」を保健福祉総合センター内に整備しました。今後は、教育、保健、福祉、医療等の連携を十分機能させ、就学前から青年期までの支援を充実させる必要があります。

## 【施策の展開方針】

- 発達・教育相談支援センターを拠点とし、教育、保健、福祉、医療などとの連携による乳幼児期から青年期までの一貫した支援を進めます。
- 発達・教育相談支援センターを拠点とし、幼小の通級指導教室等をサテライトとして、地域への巡回相談も含めた相談支援体制の充実を図ります。
- 発達・教育相談支援センターの機能や特別支援教育※の理念及び考え方が、保護者や地域に広く浸透することを目指します。
- 保健師、保育士、教員、保護者等を対象とした研修により、支援力の向上を図るとともに、専門機関との連携を一層進めます。

## 【指標】

目標指標	参考値 H18	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
特別支援教育に係る相談などの取り扱い件数(件)	220	398	↗	1,000
支援センター数・サテライト施設設置数 (センター数・特別支援児童教室※数・通級指導教室※数)(件)	(センター) 0 (サテライト) 8	(センター) 0 (サテライト) 11	↗	(センター) 1 (サテライト) 15
特別支援教育に係る研修会の開催回数(回)	5	17	↗	20
専門巡回相談※及び特別支援教育就学審議会※などにおける専門機関利用件数(回)	20	41	↗	70

## 【主要事業】

- 発達・教育相談支援センター事業
- 特別支援教育推進事業  
(特別支援教育支援員※配置事業、特別支援学級介助員※事業)



幼小中の教員を対象とした教材教具作成研修の様子▶

## 用語の解説

## サポートワーカー

不登校・不登校傾向や教室に入れない児童生徒への学校内での支援や、家庭訪問・関係機関連携など学校外での支援を行う支援員です。

不登校による年間の欠席日数が30日以上の児童生徒です。

障がいのある児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取り組みを支援するという視点に立ち、児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行つ教育です。

3歳～小学校入学前の発達が気になる児童について、市内6公立幼稚園(幼稚園、児童園を含む。)に通級制の教室を設置。保護者や在籍の幼稚園・保育所と連携を図りながら、児童の実態を把握した上で「個別の指導計画」を立案し、一週間に数時間から一日単位で個別に指導を行つています。

小・中学校の通常の学級に在籍し、発達や行動、言葉の問題などの軽度の障がいのある児童生徒に対して市内7小中学校に設置。各教科などの指導は通常の学級で行いつつ、障がいに応じた特別の指導を週あたり1～2時間程度行つ教室です。

市内保育所、幼稚園、小中学校に在籍する特別な支援を要する子どもについて、相談内容に応じて医師、大学関係者、保健師、教育関係者などの専門巡回相談員を派遣して所属や保護者の相談を行い、その後、発達・教育相談支援センターのスタッフによる継続的相談指導につなぎます。

特別支援学校及び特別支援学級への就学、入級等に係る判断や教育上の指導・助言を行い、適切な就学を進めるため、教育・医療・福祉関係者等の委員で組織する条例に基づく審議会です。

特別な教育的支援を要する児童生徒が在籍する通常の学級において、教師を補助し、協力して児童生徒の指導などに取り組むことで、一人一人の児童生徒への支援の充実を図ることを目的として松江市が単独で配置しているパート職員です。

小学校及び中学校の多人数で、移動などに介助が必要な状況等のある特別支援学級において、在籍児童生徒を指導する教員を補助し、当該児童生徒の学校における日常生活の介助を行うことを目的とし、松江市が単独で任用しているパート職員です。

## 第1節 教育環境が整う

1 教育内容の充実

3

高等学校教育の充実

〔教育委員会  
前期計画 P  
47掲載〕

## 【課題】

- 本市には、県立7校、市立1校、私立4校、計12校の高等学校があります。少子化の進行により生徒数が減少する中、市立女子校等学校は入学者数を確保し、特色ある教育活動を展開して有為な人材を輩出していくことが求められています。

## 【施策の展開方針】

- 30人学級編成、国際交流、キャリア教育\*の推進、地域連携、生徒指導改革など特色ある教育を実施し、生徒の進路実現に努めます。

## 【指標】

目標指標	参考値 H18	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
定員充足率(%)	80	89	↗	100

## 【主要事業】

- 女子高・杭州市相互交流事業
- エイズ教育支援活動
- 生徒指導改革事業



小学生へのエイズ啓発

用語の解説

**キャリア教育** 社会の中で自立して自分らしく生きていくために必要な能力や態度を育てる教育のことと言います。

## 2 教育環境の整備・充実

## 背景・前期計画の取り組み・経過

子どもたちの健やかな成長のため、安全安心な教育環境の提供、学習に必要な環境や機器等の整備を行う必要があります。

前期では、学校施設の改築・改修や耐震化、校庭の芝生化、学校図書館司書の配置などを行ない、概ね目標を達成してきました。子どもたちを取り巻く社会情勢は大きく変化してきており、今後は電子メディアへの接触や朝食の摂取に関する状況などから、さらに教育環境の整備・充実を図り、生活習慣を整え、心身ともに健康な子どもの育成を目指します。また、多様な教育機会を得るために私学の振興と、高等教育機関との連携を引き続き推進します。



1

学習環境・学校施設の整備

〔教育委員会  
前期計画 P  
49掲載〕

## 【課題】

- 安心安全で快適な教育環境を確保するため、学校施設の改築・改修や耐震化を実施し、校庭の芝生化を含めた周辺環境の整備を行う必要があります。また、情報活用教育を推進するため、学校図書館機能の充実を図る必要があります。

## 【施策の展開方針】

- 小中学校施設整備計画に基づき、学校施設の改築・改修工事及び耐震化に取り組みます。
- 地域・学校・保護者などとの連携を図りながら、全小学校の校庭芝生化を推進します。
- 小中学校図書館への学校司書配置とともに、司書教諭を含めた全教職員と学校司書が共同して行う学校図書館を活用した授業の推進に取り組みます。
- 学校司書の資質向上のための研修会等を実施し、子どもたちの読書活動及び図書を活用した学習を支える蔵書の相互活用などの支援に取り組みます。
- 情報活用教育に必要なネットワークの整備、機器の更新、ソフトウェアの充実を図ります。

## 【指標】

目標指標	参考値 H18	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
屋外運動場の芝生化(校)	—	10	↗	34
学校施設の耐震化率(%)	44.1	77.5	↗	100
小・中学校での図書館活用授業年間／1学級あたり(回)	—	小学校 12.3 中学校 7.1 (東出雲町を含まない)	↗	小学校 20 中学校 10

## 【主要事業】

- 学校施設耐震補強事業
- 学校施設整備事業
- 屋外運動場(校庭)芝生化事業
- 学校図書館司書配置事業
- 学校図書館支援センター推進事業
- 学校図書館システム整備事業



学校図書館を活用した授業

## 第1節 教育環境が整う

## 2 教育環境の整備・充実

2

健康教育の推進  
〔教育委員会〕

## 【課題】

- 子どもたちの体力、朝食摂取に関する状況、電子メディア接触時間の増加、永久歯の虫歯罹患状況の二極化などの課題が顕在化しています。生活習慣を整え、心身ともに健康な松江の子どもを育成する必要があります。

## 【施策の展開方針】

- 子どもたちに望ましい基本的生活習慣の定着を図ります。
- 松江市の子どもたちの体力・運動能力の実態を把握し、発達課題を見据えた総合的で、地域の特性を活かした体力づくりを推進します。
- 「歯と口」を糸口に健康教育を充実させ、ライフスタイルの変化に対応出来る子どもの育成を図ります。

## 【指標】

目標指標	参考値 H18	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
朝食を毎日食べている児童の割合(小6) (%) <small>※数値はH19年 (東出雲町を含まない)</small>	89	91	↗	95
TVの視聴時間が2時間30分以上の児童の割合(小6) (%) <small>(東出雲町を含まない)</small>	—	35	↘	25
小5児童の筋力(握力)(kg) <small>男子 17.0 女子 16.2 (東出雲町を含まない)</small>	男子 17.0 女子 16.2	男子 16.19 女子 16.10	→	男子 16.19 女子 16.10
小5児童の走力(50m走)(秒) <small>男子 9.3 女子 9.5 (東出雲町を含まない)</small>	男子 9.3 女子 9.5	男子 9.34 女子 9.61	→	男子 9.34 女子 9.61
永久歯の虫歯罹患率25%以上の小学校(小1から小6までの平均)(校) <small>(校)</small>	—	16	↘	8

## 【主要事業】

- 地域食育推進事業(学校、地域での食育推進活動支援)
- メディア漬けから子どもを守る健全育成事業  
(メディアに関する学習、研修会の開催、ノーテレビ・ノーゲームチャレンジ週間の実施など)
- 体力づくり推進事業(体力運動能力調査結果の分析・検討、課題改善に向けた対策など)
- 生活習慣病予防検診事業
- フッ化物洗口事業



メディア対策学習会



フッ化物洗口

3

学校給食事業の充実と食育の推進

〔教育委員会〕  
〔前期計画書 P50掲載〕

## 【課題】

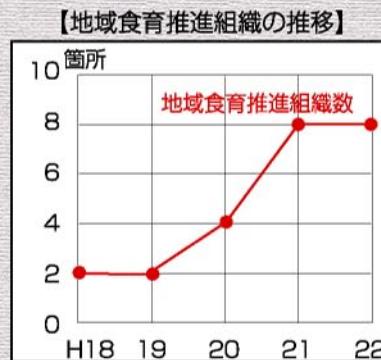
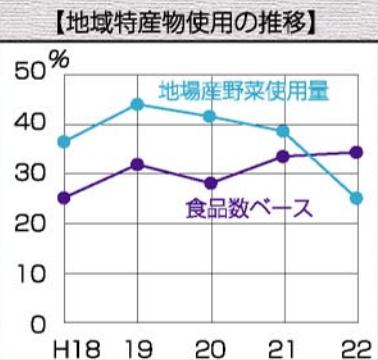
- 食に関しては、現在飽食の時代と言われ、栄養の偏り、朝食の欠食、(孤食・固食・小食)など食生活において様々な課題を抱えています。これは、生活習慣に原因があるものと考えられます。

## 【施策の展開方針】

- 学習・体験・給食の体系的食育\*の充実を図るために、地域単位に地域食育推進組織を設立し、食育の推進を図ります。
- 地域特産物の使用拡大を図り、郷土食・行事食の提供頻度を増やすなど、学校給食を通して教育内容の充実を図ります。

## 【指標】

目標指標	参考値 H18	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
地域食育推進組織数(箇所)	2	8	↗	11
学校給食での地場産品利用割合(%)【品数】 <small>※島根県実施状況調査(食品数ベース)</small>	27.5	34.4	↗	40
学校給食での地場産野菜【量】 <small>利用割合(%)</small>	37	25	↗	45



## 【主要事業】

- (再掲) 地域食育推進事業(学校、地域での食育推進活動支援)



大根の種まきの様子



大根の収穫

用語の解説

体系的食育 食に関する基礎の習得。食に関する理解、知識、選択力の習得及び健全な食生活を実践することです。

### 第1節 教育環境が整う

2 教育環境の整備・充実

4

#### 【課題】

- 私立中学校、高校、専修学校それぞれにおける特色ある教育内容を十分に活かしていく必要があります。
- 私立幼稚園の入園者は、少子化の流れの中で年々減少傾向にあります。

#### 【施策の展開方針】

- 私学の特色ある教育内容が十分活かされるよう、県をはじめ関係機関に財政支援の充実を要望するなど、私学教育の充実振興を促進します。
- 専修学校の教育内容の充実により、地元での修学の選択肢を広げ、進学率を高めることで、定住対策につなげます。

#### 【指標】

目標指標	参考値 H20	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
定員充足率(幼稚園3~5歳) (%)	54.0	39.4	↗	50.0
定員充足率(中学1年) (%)	62.5	66.7	↗	—
定員充足率(高校1年) (%)	73.7	86.8	↗	—
定員充足率(専修学校) (%)	—	76.6	↗	—

#### 【主要事業】

- 私立幼稚園就園奨励事業
- 私立幼稚園振興事業
- 私立幼稚園保育料軽減補助金
- 専修学校協議会支援事業

私学教育の充実・振興

〔政策部〕〔教育委員会〕〔健康福祉部〕  
〔前期計画P50掲載〕

5

#### 高等教育機関との連携

〔政策部〕  
〔前期計画P50掲載〕

#### 【課題】

- 島根大学、島根県立大学、松江工業高等専門学校、専修学校との連携を一層図るために、事業の効果を検証し、市と高等教育機関相互のニーズを把握しながら、様々な分野で連携が取れる仕組みづくりが必要です。

#### 【施策の展開方針】

- 地域を担う人材を育成し、若者の定住につながるよう、高等教育機関の充実を促進します。
- 地域の高等教育機関との連携を深め、知的財産やノウハウを活かした産・官・学連携による産業振興や文化の振興、地域活性化などを図ります。
- 定期的な情報交換により、相互のニーズを把握しながら連携事業を進め、成果を高めます。

#### 【指標】

目標指標	参考値 H19	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
連携事業数 (島根大学・島根県立大学・松江工業高等専門学校の合計)	—	60	↗	65
島大生の島根県内就職率 (%)	—	32.8	↗	—

#### 【主要事業】

- まちなか大学祭
- Rubyプログラミング講座
- 観光ほか各種イベント、伝統行事への参加(水燈路、春燈祭など)
- 特産物実証栽培試験などの各種共同研究
- (再掲) 専修学校協議会支援事業



水燈路(武家屋敷ライトアップ)



まちなか大学祭



春燈祭



まちなか大学祭(移動式茶室)



## 第2節 豊かな心を育む

## 1 生涯学習の推進と青少年の育成

## 背景・前期計画の取り組み・経過

次の世代を担う青少年から高齢者まで、個々の活動や社会活動の中で、生涯にわたり学習が出来る機会の提供や充実が求められています。

前期計画では、「まつえ市民大学」による各種講座を通した市民協働のまちづくりを進め、学校・家庭・地域が連携した取り組みによる「子どもも広場」の全小学校区での開設や、「移動図書館車」による図書館サービスの向上、地域活動の拠点となる公民館の整備を行うなど生涯学習の推進に向けた目標を達成してきました。今後は、これまでの取り組みのさらなる充実を目指すとともに、社会情勢の変化に対応した市民の学習活動の支援や困難を有する青少年への支援を行います。



## 1

## 生涯学習の推進

〔教育委員会／前記計画P52掲載〕

## 【課題】

- 市民のライフスタイルの変化や価値観の多様化に対応するため、学習機会の充実が求められています。社会の要請を踏まえた学習機会を提供し、さらに学習したことを地域で活かす仕組みづくりを進めます。

## 【施策の展開方針】

- 市民の多様な学習意欲に応えるため、高等教育機関等の関係機関と連携を図りながら、生涯学習の場を総合的に提供していきます。
- 生涯学習を推進するとともに、学んだことを地域活動に結びつける仕組みづくりを進めています。また、各種団体等との連携に取り組みます。
- 地域活動を支援し、まちづくりを担う人材育成を推進します。
- 地域や家庭との連携により、ジュニアスクール、科学教室など既存の体験メニューを充実させるとともに、多分野にわたる体験学習機会の提供に努めます。

## 【指標】

目標指標	参考値 H18	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
市民大学定員充足率(%)	99	97	↗	100
体験事業参加者数(人) (ジュニアスクール、科学教室、天文教室、ペットボトルロケット大会参加者)	1,527	1,446	↗	1,700

## 【主要事業】

- 生涯学習推進基本構想の策定
- まつえ市民大学事業  
(幅広い生涯学習の機会の提供、学んだ成果を地域社会で活かすまちづくりの推進)
- 各種体験学習事業の実施(ジュニアスクールなど)



ペットボトルロケット打上大会



天文教室



松江市民大学ふるさと発見コース講座

## 2

## 公民館の整備と機能充実

〔教育委員会／前記計画P52掲載〕

## 【課題】

- 公民館は、地域の生涯学習の拠点施設であるとともに、地域の様々な活動拠点としての役割を期待されています。市民の多様なニーズに応え、生涯学習の推進に対応出来る施設の整備と機能の充実が必要です。

## 【施策の展開方針】

- 公民館は生涯学習を中心に、地域福祉、環境リサイクル、青少年育成などを含む各種の地域課題に対応した活動内容の充実を進めます。
- 各公民館は「公設自主運営方式」を基本とし、地域住民が主体となった地域づくりを進めます。
- 老朽化・狭隘化により著しく機能低下した公民館について、計画的に整備し、防災拠点としての機能の充実も図ります。

## 【指標】

目標指標	参考値 H18	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
公民館の耐震化率(整備も含む)(%)	59	78	↗	100

## 【主要事業】

- 公民館施設整備事業



津田公民館竣工(平成24年2月1日)



公民館文化祭(作品展示)

## 第2節 豊かな心を育む

1 生涯学習の推進と青少年の育成

3

図書館をはじめとする生涯学習関連施設の機能充実

〔教育委員会〕〔市民部〕〔前期計画P.50掲載〕

## 【課題】

- 市民の学習意欲に対応した学習環境を提供するために、情報拠点としての図書館や生涯学習関連施設の連携を進める必要があります。

## 【施策の展開方針】

- 生涯学習や市民活動への多様な市民ニーズに応えていくためには、地域資源を共有化し、積極的に活用していくことはもとより、市民の誰もが、いつでも、どこでも活動に参加し利用出来るように生涯学習関連施設の整備と機能充実を図っていきます。
- 「新・松江市図書館ネットワーク整備プラン」を改訂し、全市的な図書館サービスの提供が可能なシステムを再構築します。
- 学校図書館との連携を図り、機能の充実に向けて支援を行います。
- 市民活動センターの機能充実を図り、市民大学による生涯学習の推進と市民活動相互の連携を目指します。

## 【指標】

目標指標	参考値 H18	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
市立図書館蔵書冊数(冊)	305,098	386,973	→	390,000
市立図書館の年間利用者数(人)	107,405	125,322	↗	139,000
市立図書館の年間貸出冊数(冊)	512,826	608,979	↗	616,500

## 【主要事業】

- 図書館ネットワーク推進事業  
(移動図書館の運営、小学校・幼稚園等へのおはなし出前サービスなど)
- (再掲)まつえ市民大学事業  
(幅広い生涯学習の機会の提供、学んだ成果を地域社会で活かすまちづくりの推進)



4

青少年の育成・支援

〔教育委員会〕〔前期計画P.53掲載〕

## 【課題】

- 次世代の社会を担う青少年の健やかな成長は社会を構成する大人の責務ですが、青少年を取り巻く環境は大きく変化しており、社会変化に応じた取り組みや困難を有する青少年への支援が十分になされていない状況にあります。

## 【施策の展開方針】

- 地域の青少年育成協議会や公民館を中心として学校・家庭・地域が連携し、地域活動への参加、体験活動など地域づくりを通した青少年育成を展開します。
- 青少年の自立に向け、働くことへの意欲を醸成し就労支援を行います。
- 放課後における子どもたちの安全で健やかな活動の場づくりとして、全小学校区で開設した子ども広場の充実を図ります。
- 困難を有する青少年に対する総合的な支援を社会全体で出来るように、地域や関係機関と連携し取り組みます。
- 氾濫する電子メディアからの情報に対して、子どもたちが正しい情報を判断し、活用出来る能力を育てるため、学校・家庭・地域が協働して取り組みます。

## 【指標】

目標指標	参考値 H18	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
子ども・若者に係る相談・支援件数(件)	1,541	1,897	↗	2,100
就労支援により就労に至った人数(人)	11	13	↗	20
ネットトラブル発生件数(小・中学生)(件)	—	33	→	30

## 【主要事業】

- 青少年支援センター事業
- (再掲)メディア漬けから子どもを守る健全育成事業
- 子ども広場事業

## 第2節 豊かな心を育む

## 2 人権施策の推進

## 背景・前期計画の取り組み・経過

全ての人は基本的人権を持っています。しかし、様々な要因によって社会的弱者が生じ、偏見などによるいじめや差別が起きています。

本市では、H19年に「人権施策推進基本方針」を策定し、学校教育や社会教育、企業啓発などの研修や講演会などの実施により成果を上げてきています。今後は、インターネットを悪用した人権侵害など、課題が多様化、複雑化していく中、お互いの人権を尊重し合う、共生社会の実現を目指します。



**1 人権施策の推進**

**【課題】**

- 女性、子ども、高齢者、障がい者、同和問題などの多くの未解決の人権問題が存在する一方、社会情勢の変化に伴い、インターネットによる人権侵害など新たな問題が顕在化し、人権問題は一層多様化、複雑化しています。

**【施策の展開方針】**

- 松江市人権施策推進基本方針に基づいた人権施策を推進します。
- 全ての市民の皆さん人が人権問題を自らの問題として認識し、解決に向けて行動する社会を目指します。
- 全ての市民の皆さん人が、お互いの価値観や多様性を認め合い、年齢、性別、障がいの有無などに関わらず能力を發揮出来る社会を目指します。
- 地域社会や家庭の絆を大切にし、行政、教育、企業、NPO\*など、様々な機関、団体、個人が人権問題の解決に向けて有機的に連携出来る社会を目指します。
- 人権意識高揚のための教育・啓発を行います。
- 市民参加による人権教育・啓発を推進します。

**【指標】**

目標指標	参考値 H18	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
松江市が主催する研修会等への参加者数(人)	2,091	2,409	↗	2,700

**【主要事業】**

- 学校教育における人権・同和教育の推進
- 社会教育における人権・同和教育の推進
- 市民の皆さんなどへの啓発活動の推進
- 隣保館における人権啓発、交流促進、相談事業等の実施




## 3 国際交流の推進

## 背景・前期計画の取り組み・経過

多様化する国際化社会の中、国際文化観光都市として松江市の「国際交流の推進」のあり方も同様に多様化しています。

松江市では、5つの友好都市と2つの友好地域との交流を進める中で、それぞれの都市・地域の実情や特性、ニーズに基づいた特徴ある交流が行われています。また、様々な国際交流活動やイベントを通じ、市民の国際意識や国際理解教育に対するニーズが高まっています。さらに、在住外国人人口は年々増加傾向にあり、外国人が快適に暮らすことが出来る環境整備の必要性も高まっています。



**1 諸外国との交流の推進**

**【課題】**

- アイルランドとの交流や、5つの都市（ニューオーリンズ市、吉林省、杭州市、銀川市、晋州市）との友好都市提携に基づき交流を行ってきました。近年では交流状況に差が生じています。

**【施策の展開方針】**

- 友好都市を中心とした都市間交流や、その他友好交流地域などとの市民レベルでの交流も含めた施策を促進します。

**【指標】**

目標指標	参考値 H18	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
友好都市・友好地域などとの交流事業への参加者数(人)	3,000	2,000	↗	3,000

**【主要事業】**

- 国際交流推進事業  
(中国3都市交流事業、晋州市交流事業、ニューオーリンズ市交流事業、アイルランド交流事業)




## 第2節 豊かな心を育む

3 國際交流の推進

2

## 【課題】

- 友好都市との相互の交流をきっかけに、民間の国際交流諸団体による自主的な交流活動や、行政と連携した国際交流イベントなどは増えていますが、市民の国際交流や国際貢献に対する理解度は十分とは言えません。

## 【施策の展開方針】

- 民間の国際交流諸団体の活動を支援し、国際交流の機会をより広く、より身近に提供することで、市民の国際理解を進めます。
- 海外の国や地域の人々と交流し歴史や文化の理解を深め、住む地域の価値や魅力を再認識することにつなげます。
- 国際交流員などの活動を通じ、国際理解を進めることで、世界に目を向けた柔軟な発想と広い視野を持つ人材の育成に努めます。

## 【指標】

目標指標	参考値 H18	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
国際交流イベント（民間事業含む） 国際理解講座等への参加者数（人）	3,000	3,100	↗	4,000

## 【主要事業】

- 国際理解推進事業（外国青年招致事業、異文化理解講座事業、八雲国際演劇祭など）



国際交流員による学校派遣



異文化理解講座「英語で学ぶ世界の料理めぐり」

3

## 国際化に対応したまちづくり

【前記計画P57掲載】

## 【課題】

- 本市には、現在約1,200人の在住外国人の方が暮らしています。これらの在住外国人の皆さんのが安心して本市で暮らすことが出来るための支援が十分にされているとは言えません。

## 【施策の展開方針】

- 在住外国人が安心して暮らせる「多文化共生※」の施策と環境整備に努めます。

## 【指標】

目標指標	参考値 H18	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
在住外国人数（人）	1,294	1,211	→	-
多文化共生事業への参加者数（人）	-	143	↗	500

## 【主要事業】

- 国際化に対応したまちづくり推進事業（多文化共生推進事業）



外国人防災避難所体験「AED研修」



外国人防災避難所体験「災害時外国人サポート研修」

用語の解説

**多文化共生** 国籍や民族の異なる人々が互いの文化的違いを認め合い、対等な関係でそれぞれの能力を発揮しながら共に生きること、ひいては、「外国人」「日本人」の区別なく、「市民」としてと共に市民生活を営むことです。



## 第2節 豊かな心を育む

## 4 文化的振興

## 背景・前期計画の取り組み・経過

本市には原始・古代から近世までの埋蔵文化財、「出雲国風土記」に記載される神社、松江城をはじめ文化財や歴史史料などが数多く残されています。

H19年からH23年まで「歴史・文化・伝統の薫る城下町」をテーマとした「松江開府400年祭」が開催され、市民の宝である松江城の国宝指定を目指す機運が高まつたほか、「松江歴史館」の開館によって史料保存や展示公開に最適の環境が整い、新『松江市史』の編纂も始まりました。あわせて、様々な文化団体の活動により文化の振興を図るとともに、文化の保存・承継を目指します。



I

指定文化財の保存・活用

〔教育委員会へ観光振興部〕

## 【課題】

- 史跡・名勝・天然記念物などの指定文化財の中には、適切な状態で維持管理されていないものや展示公開されていないものがあります。
- また、歴史史料の所在が充分に確認されていないため、散逸が著しいのが現状です。

## 【施策の展開方針】

- 貴重な文化財についての調査・研究を行い、指定して保存を図るとともに、松江歴史館などで展示公開し活用を図ります。
- 主として明治時代以降の近代化遺産については、指定より規制の緩やかな登録文化財に登録して保護に努めます。
- 松江歴史館を中心施設とし、周辺の資料館などとのネットワーク化を図り、「ぐるっと松江・博物館」連携事業に着手します。
- 市内にある歴史史料の所在や内容を継続的に調査して、散逸を防ぎます。
- 歴史研究・調査の成果に基づき、松江市の歴史史料をまとめた新『松江市史』を編纂します。
- ユネスコ無形文化遺産登録になった「佐陀神能」の顕彰に努めます。

## 【指標】

目標指標	参考値 H18	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
指定文化財件数(件)	234	238	↗	245
登録有形文化財件数(件)	6	29	↗	34
史料調査実施点数(点)	13,254	18,234	↗	40,000

## 【主要事業】

- 指定文化財保存活用事業(重要文化財松江城保存整備事業 興雲閣解体修理事業)
- 歴史資料等調査活用事業(松江市内寺社資料調査事業)
- 新松江市史編纂事業



2

埋蔵文化財の保存・整備

〔教育委員会へ観光振興部〕

〔教育委員会へ観光振興部〕

59掲載

## 【課題】

- 開発に先立って埋蔵文化財の有無、範囲を確認する試掘調査が必要であること、開発によって消滅する遺跡について、記録保存のための発掘調査が必要であることが市民の皆さんに十分理解されていない面があります。

## 【施策の展開方針】

- 埋蔵文化財包蔵地の的確な把握と周知に努め、開発事業者との調整を図りながら、発掘調査実施の円滑化を目指します。
- 出土遺物の一括保管を行うとともに、文化財保護意識の高揚、啓発を図ります。
- 専門職員の計画的な確保、育成を目指します。

## 【指標】

目標指標	参考値 H18	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
現地説明会実施回数(回)	4	6	→	7
出土文化財の貸し出し、資料閲覧件数(件)	44	54	↗	60

## 【主要事業】

- 埋蔵文化財分布試掘調査事業
- 埋蔵文化財遺物整理事業
- 埋蔵文化財発掘調査事業
- 埋蔵文化財出土遺物保存処理事業



発掘調査現地説明会



発掘調査成果展示会(松江歴史館)

## 第2節 豊かな心を育む

4 文化的振興

3

文化・芸術の振興

前  
期  
計  
画  
P  
59  
掲載

## 【課題】

- 文化は、生活様式やコミュニティに育まれ維持されるという側面を持ちますが、生活様式は大きく変化し、コミュニティ活動の停滞などが見られることから、保存・継承していくためには、文化団体などの果たす役割が大きくなっています。

## 【施策の展開方針】

- 様々なジャンルの文化団体が活動しやすくなるような環境を育みます。
- 市民に文化芸術鑑賞の機会を提供します。
- 伝統芸能、郷土芸能文化などの継承のための支援を行うとともに発表の機会を提供します。

## 【指標】

目標指標	参考値 H18	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
市民美術展公募出品数(点)	228	239	↗	300
文化協会加盟団体の会員数(人)	9,109	8,838	↗	10,000

## 【主要事業】

- 文化協会事業(市内文化団体の活動支援、文化情報誌の発刊など)
- 市民美術展開催事業(市民の皆さんによる公募美術展)
- 地域伝統芸能祭開催事業(市内の伝統芸能の発表・鑑賞の場)



4

松江城国宝化の推進

前  
期  
計  
画  
P  
59  
掲載

## 【課題】

- 松江城天守の新たな文化財的価値を実証するため学術調査に取り組むとともに、国宝化運動を市民の皆さんとの協働により継続させていく必要があります。

## 【施策の展開方針】

- 専門研究者による学術的な調査に取り組み、国宝指定につながる新しい発見を求めて研究を進めます。
- 国宝化運動に取り組む市民団体を支援し連携を図りながら、市民と行政が一体となって国宝化運動を進めます。
- 松江城に関する新しい歴史資料の発見のため、広く市民に協力を求めます。

## 【指標】

目標指標	参考値 H18	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
松江城の調査研究に関する報告会・研修会の開催回数(回)	-	1	↗	2

## 【主要事業】

- 松江城国宝化推進事業  
(松江城調査研究委員会による現地調査・史料調査、松江城を国宝にする市民の会活動支援、懸賞制度による歴史資料の募集など)



## 第2節 豊かな心を育む

## 5 スポーツの振興

## 背景・前期計画の取り組み・経過

スポーツは体力の向上以外に、参加することや観ることなど、楽しみ方が多様化しています。平成20年に策定した「スポーツ振興計画」により各種スポーツ団体と連携し、子どもから高齢者まで、それぞれのニーズに合ったスポーツに親しめる機会を提供してきました。今後は、H23年に制定された「スポーツ基本法」の二本柱である「地域スポーツの推進」と「競技力の向上」を目指し、誰もが気軽に取り組める生涯スポーツの普及や、トップアスリートと地域スポーツクラブの交流を積極的に進めていくための環境整備を、ソフト・ハードの両面から推進していきます。



I

スポーツ振興

〔教育委員会〕  
〔前期計画P.6〕  
掲載

## 【課題】

- 子どものスポーツについては、体力低下と運動をする子・しない子の二極化、生涯スポーツについては、成人のスポーツ実施率が低いといった状況にあり、全ての年齢層において幅広くスポーツに親しむことが出来る環境整備が必要となっています。

## 【施策の展開方針】

- 松江市スポーツ振興計画に基づき事業を推進します。
- 地域体育協会、スポーツ推進委員との連携を図り、生涯スポーツ競技の紹介と各地域への普及を行い、市民体育祭での地域対抗大会を行います。
- 各地域におけるスポーツ指導者の育成を行い、地域や学校での要望に応じて指導者の紹介を行います。
- (財)松江体育協会、各競技連盟等との連携により、一流スポーツ選手を招聘して講習会や練習会を開催します。
- 幼少期における軽易なスポーツや外遊びの促進に努め、全ての子どもにスポーツに親しむ機会を作ります。

## 【指標】

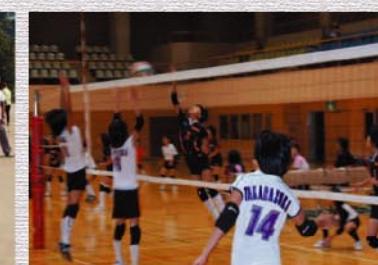
目標指標	参考値 H18	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
生涯スポーツ推進事業の参加者数(人)	6,410	8,379	↗	8,800
スポーツ少年団交流事業の参加者数(人)	1,015	1,059	↗	1,100

## 【主要事業】

- 松江市スポーツ振興計画による事業(全ての市民がライフスタイルに合わせてスポーツを楽しめる環境整備を目指した体制づくりや各種イベント開催など)
- 生涯スポーツ育成事業(市民体育祭、ニュースポーツ大会の開催や生涯スポーツ団体への支援など)
- マラソン開催事業
- 都市間スポーツ交流事業(姉妹都市とのスポーツ交歓試合などの開催)
- スポーツ少年団育成事業



市民体育祭ニュースポーツ大会



姉妹都市宝塚市松江市少年スポーツ交歓会

2

スポーツ施設の充実

〔教育委員会〕  
〔前期計画P.6〕  
掲載

## 【課題】

- スポーツ施設を活用した生涯スポーツ交流による地域づくりを進めるとともに、老朽化が著しい施設が多数あることから、災害時の避難所として利用出来るよう、年次的な改修・改築を実施する必要があります。

## 【施策の展開方針】

- 松江市総合体育館は、市内中心部のスポーツ振興の拠点施設・主要避難施設となり得る施設に建て替えます。
- 松江総合運動公園内体育施設、鹿島総合体育館を中心拠点施設として現状調査の上、年次計画を立て改修・充実に努めます。
- 地域の社会体育施設の管理を可能な限り地域の団体に委任し、地域の身近な施設として利用促進に努めます。

## 【指標】

目標指標	参考値 H18	現状値 H22	目指す方向	目標値 H28
施設利用者数(千人)	844	1,120	↗	1,180

## 【主要事業】

- 松江市総合体育館の建替事業
- 改修計画に基づいた体育施設の改修事業



市民体育祭「バドミントン大会」



市民体育祭「地区対抗大運動会」